

踏み跡 <My Mountains>

伊豆	天城山縦走	No.263
----	-------	--------

歩き残した山を見つけて歩き続けている内に箱根の山に辿り着いた。箱根の山を調べている内に伊豆半島の山々も気になってきた。中でも天城山には随分前から着目してはいたものの、中々チャンスが巡ってこなかった。ところが好機到来、職場の旅行で伊豆の稲取温泉へ行くことになった。これを逃してはならぬと・・・。

平成7年12月2日

天気は晴、4時45分に起きて朝食も食わずに出発。

津田沼発5時46分の快速に乗り東京駅へ。東京駅で朝食用に駅弁を買って、6時31分発沼津行に乗車。朝食の後は読書と居眠りを楽しみ、熱海着。伊豆大島が大きく見える、海上の天気も良さそうだ。

熱海発8時25分の伊東線に乗り替え。車窓を楽しむ間もなく伊東に到着、8時47分。

天城高原ゴルフ場行のバスは8時55分発。熱海駅と言いここ伊東駅と言い、きわどい時間の乗り換えがスムーズに運んで気持ちがいい。バスは満員、団体客が何組か入っている上に中年の登山者グループの車内マナーが悪く不快なので視線を車窓に向けていたら、富士山と南アルプスが慰めてくれた。



ゴルフ場に10時05分に到着。(バス代¥1,200)

団体がうるさいので少し距離を空けようと思ってタンクに水を詰めた後すぐに出発。(10時12分)

万二郎岳11時07分。頂上は標識と僅かなスペースだけで景色を楽しめる頂ではないので、通過。

万三郎岳12時04分。あまり広くはないが平坦で切り開かれた頂上がある。時間も時間だし、ここしかないと思うのは皆同じか、多くの登山客でほぼ満員の状態。日当たりの良さそうな場所を探して昼食。富士山、南アルプスほか眺めは良いが、いずれも樹間からの眺めになってしまう。



今日の残りの行程は天城峠経由下山ということに決めて、12時43分出発。

15分ほど下ったら頂上よりも見晴らしの良い場所を見つけたのでカメラ休憩。

歩く道は樹林越しの眺めと落葉を踏む足音、実に気持ちの良いプロムナードが続く。

小岳13時11分通過、そして八丁池14時24分。トンネルのバスの時刻が気になるのでパノラマ写真を撮影しただけですぐに出発。(下の写真)



天城峠15時45分。16時01分のバスに乗らなければならないので猛スピードで下山。

天城トンネル西側15時56分。近くに停車していた車の運転手にバス停の場所を尋ねたら、

「トンネルの反対側ではないか」と言うので大急ぎでトンネルをくぐり抜けて東側へ行って見たが、何とバス停はない。16時01分をとうに過ぎていのにバスの音すら聞こえない。通りがかりの車を止めて次のバス停を尋ね、そこまで乗せてくれと頼んだら稲取まで送ってくれると言う。渡りに船とはこういうことか。

踏 み 跡 <My Mountains>

運転中の男にいろいろ尋ねるうちに事実が判明してきた。下山してきたトンネルは旧天城トンネルで、バスは通っていない。16時01分のバスというのは新トンネルの方ではないかということが・・・。

ヒッチハイクに成功してよかった！！

稲取駅 17時着。おかげさまで職場の旅行先（稲取観光ホテル）に遅刻せずに集合することができた。展望大浴場から見る伊豆大島はなかなかの眺めだった。

以上

この山旅がきっかけとなり、伊豆半島の山々についてさらに調べて見るようになった。三方を海に囲まれた半島、面白そうな山がいくつか見えてきた。

俳句をやっていた父の遺作から一句
元の名は天霧ならん白芙蓉 不軽